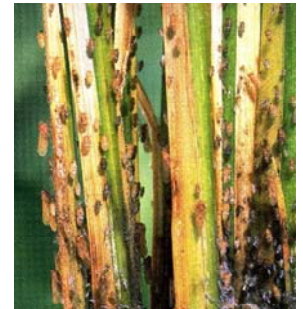


秋ウンカ（トビイロウンカ）による坪枯れのおそれあり

坪枯れに注意

さつま日置農業協同組合
鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在

水稻の重要害虫であるトビイロウンカが、多くのほ場で多発傾向にあります。
トビイロウンカは、ほ場内で急速に密度を高めて、今後、坪枯れを起こすことが予想されますので、株元をよく観察し、適期に防除を行いましょ。



坪枯れ 数 10 ～数 100 株が円形に倒伏します。ひどい時は、田んぼ全体が枯れることもあります。	坪枯れの株 茎葉はかさかさに乾き、地面に近い部分はススが発生して真黒になります。	メスの短翅型成虫。(約 3.3mm)。繁殖力と食欲が旺盛でほとんど移動しません。	株元で繁殖。田んぼの中に入って稲の株元を見ないとわかりません。
---	---	--	---------------------------------

2 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) 本年は、7月1日と12日にトビイロウンカの飛来が認められました。トビイロウンカは増殖率が非常に高く、発生がかなり多くなっているほ場があり、坪枯れの被害が心配されます。
- (2) また、8月28日に台風余波による大量のウンカの飛来がありました
- (3) 9月上旬までに防除を行ったほ場（航空防除実施地域も含む）でも、9月中旬以降も発生状況を確認し、発生を認めた場合は早急に防除します。
- (4) 本虫は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布します。
- (5) 田植時期の早い水田、過繁茂のところ、中晩生品種「あきほなみ」は特に注意します。

3 防除薬剤

平成24年産普通期水稻栽培こよみや農薬販売窓口等で薬剤を選定してください。

※ 液剤による防除は、散布薬剤が株元に十分届くように10a当たり150g散布します。

農薬は使用基準(使用時期, 使用回数, 使用量など)を守って適正に使用しましょう。